

東濃研究学園都市構想

1. はじめに

多治見市、瑞浪市、土岐市、笠原町3市1町は、岐阜県東濃地方の西部に位置している、人口21万人余の地方都市で、日本最大の陶磁器産地を形成している。

この地域は、本州中央部に位置するなど地理的条件に恵まれ、JR中央線、中央自動車道などが通っている。また、21世紀初頭には、東海環状自動車道、さらには中央新幹線の開通が見込まれており、重要な交通の要衝となり、開発ポテンシャルの非常に高い地域である。

一方、生活環境の面から見ると、緑豊かな自然環境に恵まれ、歴史的な文化財や史跡も多く、また、文化・レクリエーション施設が充実しているなど、快適でゆとりのある生活環境を備えている。

こうした地の利を生かし、特色ある機能を集積し、地域振興の拠点を形成するため、昭和59年3月に岐阜県第四次総合計画で、東濃学園都市構想を打ち出した。その後、四全総で、東濃西部を研究学園都市構想の地域として位置付けて、構想を推進してきた。

さらに、平成5年3月には、多極分散型国土形成促進法に基づく振興拠点地域基本構想の承認を得て、超高温、超高压、超伝導、無重量などの極限環境をテーマとした世界的水準の研究機関等を集積するとともに、長期的展望に立って、良好な研究環境を備えた、21世紀に通用する世界に誇れる研究学園都市づくりを推進している。

今後は、振興拠点地域制度に基づく国の支援措

置を受け、中核的施設などの整備を図るとともに、良好な自然環境を保全し、人と自然が共生する空間形成を配慮しつつ、面的開発を行っていく。

同時に研究開発機能の集積を開始し、質の高い交流機能、文化機能、住機能の整備など、快適で高度な研究環境づくりに向けて、一体的かつ総合的な開発整備を進めていく。

2. 重点整備地区

次に紹介する区域を、中核的施設をはじめ、特色ある機能の集積により、振興拠点地域の開発整備の中心となる「重点整備地区」として設定し、現在、開発・整備が進んでいる。

[フロンティア・リサーチパーク
&土岐プラズマ・リサーチパーク]

多治見市の区域約80haと土岐市の区域約560haを擁し、極限環境をテーマとした世界的水準の先端的な研究機関を核とした研究開発機能を集積するとともに、緑豊かな自然環境を生かした質の高い居住機能、レクリエーション・文化機能などを整備する。

フロンティア・リサーチパークでは既に、平成6年4月4日より、超高温環境においても十分使用に耐え得る新素材の研究開発に必要な大規模で先端的な設備を設置し、新素材の研究開発を行う超高温材料研究センターが運用を開始している。

構想・検討中の施設としては、セラミックに関するデザインなどの研究開発を行ったり、情報の

提供や技術者を養成する研究施設、デザイン情報センターが計画されている。また、同地区には岐阜県陶磁資料館がある。

土岐プラズマ・リサーチパークでは、核融合プラズマに関する学理およびその応用研究を行い、併せて大学の教員等の共同利用・共同研究を推進する大学共同利用機関として、核融合科学研究所が、平成9年度に完成が予定されている。

また、交流やスポーツ、商業や業務機能をもつ複合施設、クロスオーバーセンターとベンチャー企業向けのレンタルオフィスやレンタルラボなどをもつプラズマコンソーシアムが、第三セクターで検討されている。

[コスモ・サイエンスパーク]

土岐市、一部瑞浪市の区域約100haで、無重量実験による研究をはじめ、先端技術に関する先進的な研究開発機能を集積し、東濃研究学園都市のセカンドコアゾーンとして整備する。

ここには、日本無重量総合研究所（地上において簡単に、繰り返し行うことのできる無重量実験の機会を提供する実験施設）や動力炉・核燃料開発事業団中部事業所東濃鉦山（地層科学研究）が隣接しており、極限環境をテーマとした体験学習型の科学館、極限環境科学館が第三セクターで検討されている。

[インターガーデン]

緑豊かな自然と各種運動施設や瑞浪市化石博物館などの文化施設がある瑞浪市市民公園がある約40haの区域で、極限環境研修センターの設立が予定されている。

[インダストリアルパーク]

研究開発機能の集積に伴い、そこで、研究開発される先端性の高い産業技術を活用した生産機能の集積を図るため、長期的な開発を検討している区域で、瑞浪市、一部土岐市の約160haに、ハイテク工業団地をイメージしている。

以上、おおまかに「東濃研究学園都市構想」を紹介したが、構想の本格的な進展に伴い、さらに研究施設の誘致やPRを行い、先端企業等の、この構想への理解を広く得るため、去る3月3日に東京千代田区の赤坂プリンスホテルにおいて、首都圏から約110名、地元関係者50名が参加し、「東濃研究学園都市先端企業交流会」が開催された。はじめに超電導工学研究所長 田中昭二氏の講演「超電導と技術革新」があり、その後、梶原拓岐岐阜知事のあいさつを合図に、交流会が行われた。

なお、さらに詳細な内容については、下記に問い合わせられたい。

東濃研究学園都市推進連絡協議会

岐阜県 ●企画調整課

〒500 岐阜市藪田南2-1-1 ☎(0582)72-1111

多治見市 ●企画課

〒507 多治見市日ノ出町2-15 ☎(0572)22-1111

瑞浪市 ●企画調整課

〒509-61 瑞浪市上平町1-1 ☎(0572)68-2111

土岐市 ●企画開発課

〒509-51 土岐市土岐津町土岐口2101

☎(0572)54-1111

笠原町 ●総務課

〒507 土岐郡笠原町2082-5 ☎(0572)43-3131

(文責 本誌編集事務局)

東濃研究学園都市の開発整備の概要

既設または整備中の施設

- ①核融合科学研究所
- ②超高温材料研究センター
- ③日本無重量総合研究所
- ④名古屋工業大学セラミックス研究施設
- ⑤動力炉・核燃料開発事業団中部事業所
- ⑥ 同 東濃鉱山

計画または構想中の施設

- ⑦デザイン情報センター
- ⑧クロスオーバーセンター
- ⑨プラズマコンソーシアム
- ⑩極限環境研修センター
- ⑪極限環境科学館

